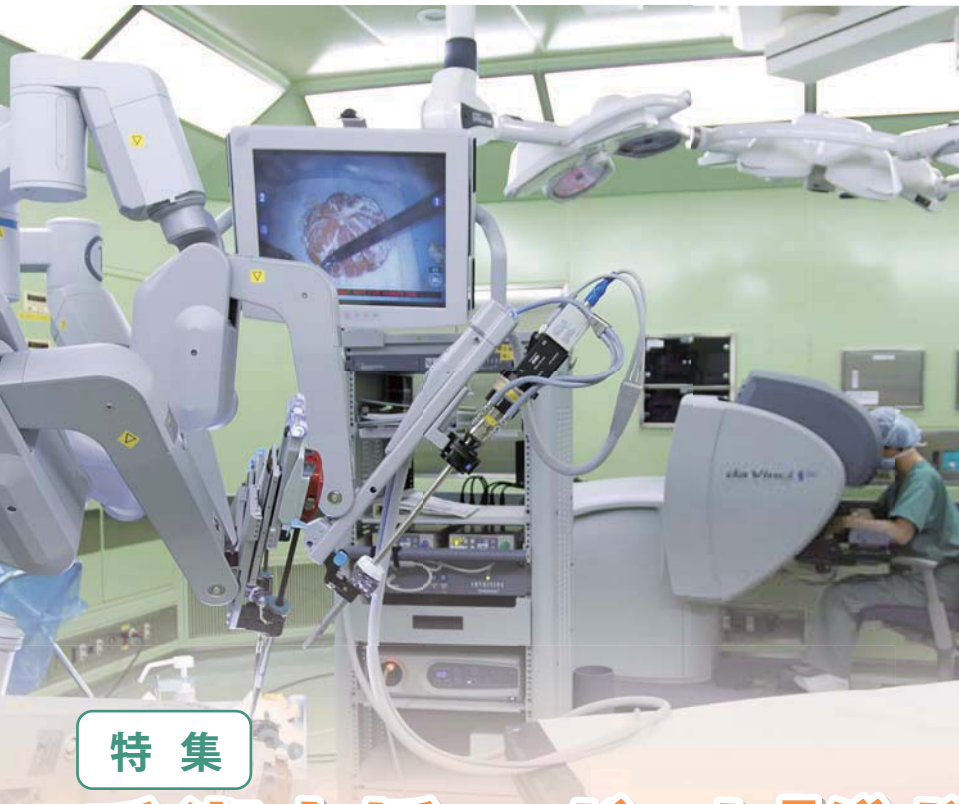




山大病院だより



特集

手術支援ロボット「ダヴィンチ」を導入 9月稼働開始!

当院では、手術支援ロボット「ダヴィンチ」を導入し、8月26日に岡病院長、松山手術部長(泌尿器科長)、阿部事務部長らが出席し導入に関する記者会見を行いました。

記者会見では、「ダヴィンチ」を使用して行う手術の適応症例や世界における臨床使用の状況などの説明のほか、シミュレーターの実演・見学、「ダヴィンチ」の実演・見学を行いました。

「ダヴィンチ」は、内視鏡下手術用の支援ロボットで、山口県内では初めての導入となる最先端の医療機器です。なお、このロボットの導入に当たり、地域医療の拠点となる高度・専門医療機関の機能強化支援として、山口県から補助を受けています。

また、この手術支援ロボットの適応が認められている診療領域は、一般消化器外科、胸部外科、泌尿器科、婦人科ですが、当院で



会見の様子：岡病院長



松山手術部長

は、平成24年4月から保険適用となった「前立腺がんの全摘出手術」から始めることとしており、この9月に稼働を開始しました。

このロボットを使用する手術のメリットは多く、(1)従来の開腹手術などに比べ傷口を最小限とすることができ、患者さんへの負担が少なく、社会復帰が早い、(2)3次元画像(立体画像)で手術を行うことができ、より精密な操作が可能、(3)カメラで術野を拡大して見ることができ、(4)ロボットは人間の手首以上の可動域があるため、手術をスムーズかつ安全確実に行うことができる、(5)手ぶれがないため、微細器官の剥離、縫合などの精度が格段に向上する、などが挙げられます。

当院は、山口県の中核病院、高度医療機関、地域に開かれた病院として、患者さんの立場に立った医療、より先進的な医療の実施などに今後も努めていきます。

山大病院NEWS

ホットなニュースをご紹介します。



会見の様子(左から、藤本講師、中井教授、坂井田医学系研究科長、丸本学長、三池副学長(学術研究担当))

医学系研究科中井教授らの研究グループが、がん治療に新たな道をつくる可能性がある研究成果を発表！

本学大学院医学系研究科化学分野の中井彰教授、藤本充章講師らを中心とした研究グループが、産業技術総合研究所の夏目徹主任研究者らとの連携研究で、タンパク質のホメオスタシス(恒常性)を調整するための基本的な仕組みを解明しました。細胞内タンパク質は、ストレスなどで異常を発生し...



記者会見にて説明をする中井教授

今後は、調節に必要なタンパク質複合体であるHSF1-RPA1の相互作用を断ち切る化合物を見出すことによって、がんの治療薬の開発に結びつけることができると期待されます。なお、この研究成果は、米国の科学雑誌『Molecular Cell』(8月30日付け)のオンライン版に掲載されています。

イベント・レポート

様々な出来事をご紹介します。

やまぐち！プチ元気！ ～知っておきたいくすりのこと～

8月25日、KRY山口放送にて「製薬協特別番組」が放送されました。コメントーターとして岡病院長、VTRでは臨床薬理学 古川教授他が出演し、一般視聴者100名を招待した会場で、地域医療の現状や、薬と治療について分かりやすく解説しました。



医学部の徽章(ピンバッジ)を作成！



このたび、医学部および附属病院に対して、愛着を深めていただくために、医学部の徽章(ピンバッジ)を作成し、教職員・学生に配布することにしました。デザインは、医学部の旗にある医学部のマークをそのまま使用し、色は、教職員は「紺色」、学生は「緑色」です。



教職員用 学生用

Announcement

「山口から世界へ！」世界をリードする最先端の研究をわかりやすく地域へ紹介！！

お知らせ (TV放送)

医進！前進！
～山口大学医学部研究室探訪～

放送日 毎週水・土・日曜日 11:45~12:00、20:00~20:15 ※放送時間は、変更される場合があります。
放送局 山口ケーブルビジョン(ケーブルTV) 上記時間帯にて、絶賛放送中！！

Human

人

山口大学医学部附属病院にまつわる方々を紹介します。

就任のご挨拶



第二内科長 矢野 雅文

この度、平成24年8月1日付で山口大学大学院医学系研究科 器官病態内科学(第二内科)の教授および診療科長に就任いたしました矢野雅文と申します。科長として、その責任の重さに身が引き締まる思いであり、伝統をしっかりと受け継ぎながら臨床、研究、教育を有機的に調和させ、私なりの新しいカラーを出して教室(科)を発展的に導きたいと考えています。私は、昭和58年に山口大学を卒業してすぐに第二内科に入局し心臓カテーテル班に所属、循環器

(救急)診療をする傍ら心不全に関する研究にも長年携わってまいりました。これらも経験を活かして高度先進医療や最新の研究にも積極的に取り組んでいきたいと思っています。第二内科は、循環器疾患を中心に呼吸器、膠原病、腎疾患を担当しています。昨今、高齢化に伴い循環器疾患患者は増加の一途をたどり、さらに腎臓病や呼吸器・感染症の合併により病態は複雑化し多臓器障害により重症化することを臨床実地ししばしば経験いたします。このような病態においても当科はその幅広い診療領域を活かし適切に対応できるように専門性に裏付けされた高度な総合内科的診療の充実をはかり科としての責任を果たしてまいりたいと考えています。また、一人でも多くの有能な医師を養成し地域医療に貢献すべく教室員一丸となつて努力してまいりますので宜しくお願い致します。

治験功労者の先生方を表彰



7月25日、病院運営審議会で、平成23年度治験功労者(個人賞・団体賞)の表彰式が行われました。これは、当院において受託・実施中の治験に対し、特に貢献した医師及び診療科の功績を表彰することで、医師等の勤務意欲の高揚とさらなる治験の推進に貢献することを目的とするものです。

個人賞では武藤正彦教授をはじめ、森重直行講師、尾本雅俊助教、原田英宜助教、山口道也助教が受賞、団体賞では皮膚科が受賞し、岡病院長から表彰状と記念品が授与されました。

個人賞	授与症例	同意取得症例
1位 武藤正彦教授/皮膚科	4症例	5症例
団体賞	授与症例	同意取得症例
1位 皮膚科	8症例	9症例

看護部 認定看護師さんにインタビュー!!



- Q お名前は何ですか? A 磯部美紀です。
- Q 認定看護師の分野は? A がん放射線療法看護認定看護師です。2010年に新しく認定され、放射線治療を受ける患者さんの看護に特化した分野です。放射線治療を受けられる患者さんが計画された治療を完遂でき、治療効果が高まるよう、専門的な知識と技術をもとに有害事象の予防・緩和、日常生活支援などを行っています。また、看護スタッフへの指導や相談も行います。
- Q 血液型は何ですか? A たぶんA型です。
- Q 小さかった頃、なりたかった職業は何ですか? A 小さい頃の夢が叶いました。看護師です。
- Q 自分を動物に例えると? A スヌーピー(動物ではありませんが)
- Q 好きな食べ物は? A アイスクリームならどんな種類でも好きです。
- Q 趣味は何ですか? A 音楽鑑賞
- Q 好きなスポーツは? A 野球
- Q 仕事をしている中で、楽しいこと(うれしいこと)は何ですか? A やるせない思いや無力感などを感じた時に、患者さんやご家族の言葉に助けられたとき
- Q 反対に苦しい(辛いこと)は何ですか? A がん放射線療法看護認定看護師として成長できるまで遠い道のりを感じますが、いろんな経験を積み重ねて成長していきたいです。
- Q 最後にどんな看護師を目指されますか? A 患者さんの言葉を受け止め、心をしっかり支えることができる看護師を目指したいです。

看護部から明るく元気な気持ちを発信!

看護部では、昨年秋より、このようなウエルカムボードを看護部研修室前に設置しています。このウエルカムボードの設置は、フィッシュ哲学の「人を喜ばせることで、その喜びを分かち合う。遊び心を持って自由性を発揮する」という考えを取り入れ、まず、私たち看護部から明るく元気な気持ちを発信していこうという取り組みの一つです。インターンシップや病院見学に来る学生さん、他病院の来訪者の方々への歓迎のメッセージを書いたポスター以外にも、情報共有のため研修会の開催予定などを書いた職員向けポスターを作成しています。魅力的な職場環境づくりの一役を担っているウエルカムボードをぜひ一度ご覧ください。



ウエルカムボードをぜひご覧ください!



地域医療 だより

野菜を食べてますか？

萩市・野菜ソムリエ 和田浩二さん

地域医療推進学講座の中村です。この仕事をしていると、“美味しい魚を食われていいですね”と、よく言われます。地域医療→離島→海が近い→魚が美味しい!と、連鎖的に思われがちですが、“魚だけではなく、島の野菜も美味しいですよ”と、返答することにしています。ある島の診療所の先生のお話ですが、島の農業には冷蔵用の保存設備もなければ、物流も限られています。島の野菜は、島特有の土壌と水と潮風という恵まれた環境の中で、島の斜面でしっかり太陽光を浴びて育ち、一番おいしい時期を見計らって収穫され、食べられるから美味しいのだそうです。この言葉を聞いてから、島だけではなく地域の野菜にも目を向けています。地域も島と同じように人と野菜の距離が近いのではないかと。人の愛情を一身に受けた野菜は絶対に美味しいはず。ところで、萩市には学生や研修医の実習等でよく出かけますが、帰りに必ず立ち寄る所があります。道の駅萩往還の“野菜まあと”です。昔の萩有料道路の料金所のところといえばピンとくるのではないのでしょうか。ここに野菜ソムリエの資格を持つ和田浩二店長がおられます。とても気さくな方で、旬の野菜や、その食べ方やレシピも教えてくれます。萩の新しい品種の野菜なども教えてくれて、逆に感想を求められたりします。地域の野菜をみていると、私もたまには料理でも作ろうかというモチベーションが湧いてくるので不思議です。

【地域医療推進学講座、中村浩士】



萩往還道の駅“野菜まあと”にて、野菜ソムリエの和田さんとのツーショットです。とても丁寧な方で野菜のことだけでなく、料理レシピなども細かく教えてくれます。お店の商品の9割以上は萩市や周辺の市町村で収穫されたいわゆる地物ばかりですので、安心安全です。スーパーでは体験できない、何となく昭和を感じさせるレトロな買い物を楽しめます。

和田さんお奨めの10月の野菜&果物

松蔭柿(合わせの西条柿)

萩市旧松本村は吉田松陰生誕の地であり、かつて松下村塾があった地です。江戸時代から柿の栽培がさかんで(松本柿)として知られ、その味の良さから、昭和天皇に献上された歴史もあるそうです。品種は西条柿で、渋抜きしたものを生食で、または吊るし柿でいただけます。1859年冬、吉田松陰が萩の獄中で、絶食していた際母が吊るし柿を差し入れた史実があります。我が子の身を案じて差し入れた柿はきっと松蔭の好物であったことでしょう。そして、この地に、現在も樹齢150年以上の柿の木が10数本現存し、大切に守り育てられています。この松蔭柿は普通の西条柿と少し異なって割れ目の線が少なく種がほとんどないことです。味は上品で甘く、いくらでも食べられます。

ゆずぎち



萩原産の香酸柑橘だそうで、カボスやスダチの仲間です。唐揚げや焼き魚等に少し垂らすと料理がグレードアップします。

阿武産トマト

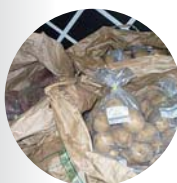
ドレッシングやマヨネーズをつけない、丸齧りのうまさを教えてください。



阿北栗(あほぐり)

山口県萩市田万川・須佐地域を中心に栽培されています。

相島産じゃがいも&さつまいも



相島は萩沖14kmの島で相島産のスイカも有名です。独特の火山灰の土壌がこれらの作物の生育に適していると言われています。



大島産ブロッコリー

大島診療所の先生もご推薦です。大島産のブロッコリーはこの時期しか食べられません。スーパーのものとは確実に違います。

野菜嫌いの子供も必ず食べる!



おとうさんの超簡単レシピ

- ① 茹でたブロッコリーを耐熱小皿かアルミカップに入れる。
- ② マヨネーズを少し垂らし、とろけるチーズを振りかける。
- ③ オープンでチーズの表面が軽く焦げる程度に焼くと出来上がりです。



ご意見・ご要望をお待ちしています!!

新年号からリニューアルした本誌「山大病院だより」。今後、ますます充実した誌面にしたいと考えておりますので、読者である皆さまからの活発なご意見・ご要望をお待ちしています。

- こんな情報を取り上げてほしい
- こんな特典があれば嬉しい
- このコーナーが面白かった/面白くなかった etc.

ご意見・ご要望は FAX 0836-22-2113
こちらへ E-mail me202@yamaguchi-u.ac.jp

すぐ使える



ハーブを使ったまめまめ情報

<ストレスを感じる時におすすめハーブ>の巻>

アイピローの作り方

●使用ハーブ→ラベンダー

- ① ドライラベンダーとあら塩を1:1で混ぜます。

※湿った塩の場合はフライパンで炒って乾燥させてから混ぜてください。

- ② 目の上にのせた時に心地よい重さになるくらいの量を布袋に入れて出来上がり!



by ストレスに負け気味な編集者M(▽▽*)

● 編集担当(総務課・総務係: H.N・M.A)

秋です(*^▽^*)b
食欲の秋、芸術の秋、読書の秋…皆さまは何の秋でしょうか？
ちなみに、私は…○○の秋です(秘密ですゞ(≧▽≦)ノ)
今号も読んでいただき…感謝です★

「人」紹介コーナーも始まりました。
「出たい」「目立ちたい」など、自己主張が強い方、キャラの濃い方大歓迎ですので、お待ちしております(^-^)/
これからも、未永くご愛読のほどよろしくお願いいたします(〃▽〃)

編集後記

